

1 教科の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。（知識及び技能）
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
一学期	A 材料と加工の技術 ものづくりの視点と進め方・材料の特徴 材料と環境との関わり・使用目的と製作品の決定 機能の検討・構造の工夫・材料の選択 加工方法の検討・接合方法の検討・仕上げ方法の検討・製図・けがき・切断・切削・穴あけ 部品の検査と修正・仕上げ・社会や環境との関わり	材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解する。 技術に込められた問題解決の工夫について考える。 製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる。 問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考える。
二学期	B 生物育成の技術（小松菜の栽培） 作物や家畜などの特性・育成計画と記録 栽培に適した環境・土壌の性質と施肥・定植 定植後の管理・収穫と管理・社会や環境との関わり	生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解する。 技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考える。 育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解する。 安全・適切な栽培ができる。 育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考える。
三学期	後期は家庭分野の学習になります。	

3 評価の観点・資料、方法

評価の観点	評価の資料、方法
知識・技能	確認テスト、ポートフォリオ、ワークシート 実習の様子、製作品
思考・判断・表現	授業の様子、ポートフォリオ、ワークシート 実習の様子、製作品
主体的に学習に取り組む態度	授業の様子、ワークシート 振り返りカード、製作品